

平成30年度 日本NGO連携無償資金協力

贈与契約署名式典 堀之内大使スピーチ

2018年12月27日（木） 於：日本国大使館多目的ホール

特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド

「カンボジア王国 国立体育・スポーツ研究所（NIPES）体育科コース4年制大学化プロジェクト（第1年次）」

公益財団法人 国際開発救援財団（FIDR）

「コンポンチュナン州における住民主体による営農強化及び健康増進事業（第2年次）」

- 特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド
東南アジア事務所副所長 手束耕治様
- 公益財団法人 国際開発救援財団
カンボジア事務所所長 南由美子様
- 御列席の皆様

本日、日本NGO連携無償資金協力案件に係る署名式典を開催できることを大変嬉しく思います。

本日署名された事業についてご紹介致します。

はじめに、ハート・オブ・ゴールドが実施する事業に対しては、今回、日本政府から約39万6千米ドルを供与し、国立体育・スポーツ研究所を4年制の体育科教員養成機関へ移行すべく、教育課程の見直し、人材育成、施設整備等を行います。本事業を通じて、体育教員の養成環境が向上し、カンボジアにおける体育科教育が発展することを願っております。

次に、国際開発救援財団が実施する事業に対しては、今回、日本政府より約29万7千米ドルを供与し、コンポンチュナン州3郡において、米の生産性向上と営農の多様化、子どもの栄養改善、地域住民のネットワークの構築、農協の強化を行います。これにより地域住民が生活状況を改善し、十分かつ栄養のある食事を摂り、良好な健康状態を維持出来るようになることを期待します。

本日御出席の皆様の御健康と御多幸、両国の友好のますますの発展を祈念致します。

ありがとうございました。

平成30年度日本NGO連携無償資金協力署名式典

特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド

「カンボジア王国 国立体育スポーツ研究所（NIPES）体育科コース4年制大学化プロジェクト」

公益財団法人 国際開発救援財団

「コンポンチュナン州における住民主体による営農強化及び健康増進事業（第2年次）」

平成30年12月27日（木）、平成30年度日本NGO連携無償資金協力に係る署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では、堀之内秀久特命全権大使が（特活）ハート・オブ・ゴールドの手束耕治東南アジア事務所副所長との間で「カンボジア王国 国立体育スポーツ研究所（NIPES）体育科コース4年制大学化プロジェクト」（供与限度額396,033米ドル）について、（公財）国際開発救援財団（FIDR）の南由美子カンボジア事務所長との間で「コンポンチュナン州における住民主体による営農強化及び健康増進事業（第2年次）」（供与限度額296,489米ドル）について、それぞれの贈与契約書に署名を行いました。

（特活）ハート・オブ・ゴールドが実施する事業では、国立体育・スポーツ研究所（NIPES）を現在の2年制課程から4年制の体育科教員養成機関へ移行するため、教育・青少年・スポーツ省と協力しながら、教育課程の見直しや人材育成、施設整備等を行います。本格的な体育教育がなかったカンボジアですが、本事業が目指す体育教育では、スポーツの技能や知識の習得に留まらず、協調性等を身につけることが目標とされています。本事業を通じて、体育教員の養成環境が向上し、カンボジアにおける体育科教育が発展することが期待されます。



（公財）国際開発救援財団（FIDR）は本事業を通じて、コンポンチュナン州3郡において、米の生産性向上と営農の多様化、子どもの栄養改善、地域住民のネ

ネットワークの構築、農協の強化を行います。実施にあたっては様々なレベルの行政機関と密接に連携し、広範囲における持続的な効果がもたらされる仕組みを作るとともに、村レベルではキーパーソンが中心となってコミュニティの自立的発展を確実にしていきます。本案件の実施により、地域住民が自らの手で生活状況を改善し、



十分かつ栄養のある食事を摂り、良好な健康状態を維持出来るようになることを期待します。

式典では、堀之内大使がスピーチを行い、今回の支援が対象機関の職員、学生、対象地域の住民に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好促進につながることを願うと述べました。

続いて（特活）ハート・オブ・ゴールドの手束耕治東南アジア事務所副所長と（公財）国際開発救援財団の南由美子カンボジア事務所長が、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、着実に事業を推進していくことを約束しました。

